

大阪成蹊大学 2026年3月卒 卒業時アンケート「本学での学修・学生生活について」

【回答選択肢】 A.そう思う／B.ややそう思う／C.あまりそう思わない／D.そう思わない

1. 本学での学びをとおして、あなた自身の成長を実感することができましたか？

2. 本学の教育方針や教育内容は、満足できるものでしたか？

3. これからの人生において役立つことを、本学で学べましたか？
4. 本学での学修において、教員・職員からの指導やサポートは満足できるものでしたか？

5. 就職や卒業後の進路選択において、本学のサポート体制は満足できるものでしたか？

6. 本学に入学して、良かったと思いますか？

		1.成長実感					2.教育満足					3.学びの役立ち度					4.教職員サポート満足度					5.就職サポート満足度					6.入学満足度				
		A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計
経営学部 (経営学科・スポーツマネジメント学科) 回答率 77.3%		118	86	10	1	215	105	97	12	1	215	113	90	10	2	215	130	79	5	1	215	128	75	10	2	215	117	91	4	3	215
		94.9%		5.1%			94.0%		6.0%			94.4%		5.6%			97.2%		2.8%			94.4%		5.6%			96.7%		3.3%		
	前年比	0.8		-			▲ 0.6		-			▲ 0.6		-			0.7		-			▲ 0.6		-			1.7		-		
経営学科 回答率 90.5%		63	66	4	0	133	53	71	9	0	133	58	68	7	0	133	70	60	3	0	133	72	52	9	0	133	60	69	2	2	133
		97.0%		3.0%			93.2%		6.8%			94.7%		5.3%			97.7%		2.3%			93.2%		6.8%			97.0%		3.0%		
	前年比	4.6		-			1.8		-			▲ 0.5		-			4.4		-			▲ 0.1		-			5.6		-		
スポーツマネジメント学科 回答率 62.6%		55	20	6	1	82	52	26	3	1	82	55	22	3	2	82	60	19	2	1	82	56	23	1	2	82	57	22	2	1	82
		91.5%		8.5%			95.1%		4.9%			93.9%		6.1%			96.3%		3.7%			96.3%		3.7%			96.3%		3.7%		
	前年比	▲ 4.4		-			▲ 2.8		-			▲ 0.9		-			▲ 3.7		-			▲ 0.6		-			▲ 2.6		-		
国際観光/ 国際観光ビジネス学科 回答率 74.5%		32	8	1	0	41	32	8	0	1	41	32	8	0	1	41	35	6	0	0	41	33	7	1	0	41	33	7	1	0	41
		97.6%		2.4%			97.6%		2.4%			97.6%		2.4%			100.0%		0.0%			97.6%		2.4%			97.6%		2.4%		
	前年比	0.7		-			▲ 0.9		-			▲ 0.9		-			1.6		-			▲ 0.9		-			3.8		-		
芸術学部 回答率 94.4%		121	73	6	1	201	99	93	9	0	201	125	71	5	0	201	122	65	13	1	201	105	79	16	1	201	123	70	7	1	201
		96.5%		3.5%			95.5%		4.5%			97.5%		2.5%			93.0%		7.0%			91.5%		8.5%			96.0%		4.0%		
	前年比	0.4		-			4.3		-			1.4		-			▲ 0.4		-			▲ 1.3		-			4.3		-		
教育学部 回答率 89.6%		126	78	1	2	207	106	95	4	2	207	140	63	2	2	207	130	70	5	2	207	115	78	10	4	207	123	76	5	3	207
		98.6%		1.4%			97.1%		2.9%			98.1%		1.9%			96.6%		3.4%			93.2%		6.8%			96.1%		3.9%		
	前年比	0.3		-			0.5		-			1.5		-			▲ 1.7		-			▲ 2.2		-			0.1		-		
大学合計 回答率 85.5%		397	245	18	4	664	342	293	25	4	664	410	232	17	5	664	417	220	23	4	664	381	239	37	7	664	396	244	17	7	664
		96.7%		3.3%			95.6%		4.4%			96.7%		3.3%			95.9%		4.1%			93.4%		6.6%			96.4%		3.6%		
	前年比	0.5		-			1.1		-			0.5		-			▲ 0.4		-			▲ 1.5		-			2.2		-		

大阪成蹊大学

2026年3月卒 卒業時アンケート「DPの修得意識に関するアンケート」

A…そう思う B…ややそう思う C…あまりそう思わない D…そう思わない

経営学部 経営学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合(A+B)		平均点	
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		(前年比)		(前年比)
確かな専門性	1) 企業や組織における経営資源「人、モノ、カネ、情報」の役割とその活用方法を理解した。	47	81	5	0	96.2%	3.9P	3.32	▲ 0.06
	2) ビジネスの仕組みと今後の発展の方向性について理解した。	55	75	2	1	97.7%	5.4P	3.38	▲ 0.01
	3) 企業や組織で求められる基礎的な知識、技能（企画・運営、会計、流通、商品開発、管理）を身に付けた。	58	72	3	0	97.7%	3.5P	3.41	0.03
	4) 企業や組織で求められる仕事に大学で学んだ知識、技能、考え方を活かすことができる。	52	79	2	0	98.5%	3.3P	3.38	▲ 0.04
	5) 顧客のニーズを理解し、それに対応したサービスの提供と改善のための方法を理解した。	55	76	2	0	98.5%	5.2P	3.40	▲ 0.01
社会で実践する力	6) データ、社会事象等から課題を発見することができる。	54	73	6	0	95.5%	3.1P	3.36	▲ 0.01
	7) データや先行研究を使って課題解決のための対策を考え、それをわかりやすく説明することができる。	49	77	7	0	94.7%	1.4P	3.32	▲ 0.03
	8) 課題解決に向けて、積極的にかかわることができる。	66	63	4	0	97.0%	2.7P	3.47	0.09
	9) 課題を解決できるまで、あきらめずに取り組むことができる。	63	68	2	0	98.5%	4.2P	3.46	0.06
協働できる素養	10) 意見の共通点や相違点を整理して、互いの考えを理解するために努力を続けることができる。	58	74	3	0	97.8%	3.5P	3.41	▲ 0.00
	11) 企業や組織の中で、自分の役割を理解し、協働することができる。	60	70	3	0	97.7%	2.5P	3.43	▲ 0.01
忠恕の心	12) よりよい社会を作るために、何ができるかを考えて、自ら進んで行動することができる。	65	63	5	0	96.2%	2.0P	3.45	0.04

経営学部 スポーツマネジメント学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合(A+B)		平均点	
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		(前年比)		(前年比)
確かな専門性	1) 企業や組織における経営資源「人、モノ、カネ、情報」の役割とその活用方法を理解した。	52	26	3	1	95.1%	▲ 2.8P	3.57	0.10
	2) ビジネスの仕組みと今後の発展の方向性について理解した。	50	28	3	1	95.1%	▲ 2.8P	3.55	0.08
	3) 企業や組織で求められる基礎的な知識、技能（企画・運営、会計、流通、商品開発、管理）を身に付けた。	50	29	2	1	96.3%	▲ 2.6P	3.56	0.06
	4) 企業や組織で求められる仕事に大学で学んだ知識、技能、考え方を活かすことができる。	52	26	2	2	95.1%	▲ 2.8P	3.56	0.06
	5) 顧客のニーズを理解し、それに対応したサービスの提供と改善のための方法を理解した。	53	26	2	1	96.3%	▲ 0.6P	3.60	0.13
社会で実践する力	6) データ、社会事象等から課題を発見することができる。	51	28	2	1	96.3%	▲ 2.6P	3.57	0.13
	7) データや先行研究を使って課題解決のための対策を考え、それをわかりやすく説明することができる。	50	27	4	1	93.9%	▲ 4.0P	3.54	0.08
	8) 課題解決に向けて、積極的にかかわることができる。	50	29	2	1	96.3%	▲ 1.6P	3.56	0.06
	9) 課題を解決できるまで、あきらめずに取り組むことができる。	52	27	2	1	96.3%	▲ 1.6P	3.59	0.04
協働できる素養	10) 意見の共通点や相違点を整理して、互いの考えを理解するために努力を続けることができる。	56	23	2	1	96.3%	▲ 1.6P	3.63	0.16
	11) 企業や組織の中で、自分の役割を理解し、協働することができる。	55	24	2	1	96.3%	▲ 2.6P	3.62	0.09
忠恕の心	12) よりよい社会を作るために、何ができるかを考えて、自ら進んで行動することができる。	55	25	2	0	97.6%	▲ 0.4P	3.65	0.08

国際観光学部/国際観光ビジネス学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合(A+B)		平均点	
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		(前年比)		(前年比)
確かな専門性	1) 企業や組織における経営資源「人、モノ、カネ、情報」の役割とその活用方法を理解した。	26	15	0	0	100.0%	0.0P	3.63	0.20
	2) 観光関連産業や地域活性化あるいはグローバル企業の経営やビジネスの仕組みを理解した。	31	10	0	0	100.0%	6.3P	3.76	0.37
	3) 観光関連産業や地域活性化あるいはグローバル企業における必要な専門知識、技能を身につけた。	31	10	0	0	100.0%	1.6P	3.76	0.35
	4) 大学で学んだ知識、技能、考え方を、企業や組織で求められる仕事に活かすことができる。	30	10	1	0	97.6%	11.6P	3.71	0.54
	5) 各国の地理的特徴や多様な文化を理解するとともに、外国語の言語をツールとして使い、文化的背景が異なる相手とわかりあえる。	34	7	0	0	100.0%	3.1P	3.83	0.45
	6) 顧客のニーズを理解し、それに対応したサービスの提供と改善のための方法を理解した。	32	9	0	0	100.0%	1.6P	3.78	0.37
社会で実践する力	7) データ、社会事象等から課題を発見することができる。	32	8	1	0	97.6%	▲ 2.4P	3.76	0.27
	8) データや先行研究を使って課題解決のための対策を考え、それをわかりやすく説明することができる。	31	9	1	0	97.6%	▲ 0.9P	3.73	0.29
	9) 課題解決に向けて、積極的にかかわることができる。	34	7	0	0	100.0%	3.1P	3.83	0.39
	10) 課題を解決できるまで、あきらめずに取り組むことができる。	33	8	0	0	100.0%	1.6P	3.80	0.26
協働できる素養	11) 意見の共通点や相違点を整理して、互いの考えを理解するために努力を続けることができる。	32	9	0	0	100.0%	0.0P	3.78	0.17
	12) 企業や組織の中で、自分の役割を理解し、協働することができる。	34	7	0	0	100.0%	1.6P	3.83	0.17
忠恕の心	13) よりよい社会を作るために、何ができるかを考えて、自ら進んで行動することができる。	37	4	0	0	100.0%	0.0P	3.90	0.20

芸術学部		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合(A+B)		平均点	
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D	割合(A+B)	(前年比)	平均点	(前年比)
確かな専門性	1) 芸術・デザインに関する歴史的・理論的な学修に基づいた専門的な知識と理解を有し、これを有効に活用することができる。	105	89	7	0	96.5%	▲ 1.8P	3.49	▲ 0.01
	2) 描画力、色彩計画、素材知識、構成力、構想力、コンピュータスキルを有し、これを有効に活用することができる	119	74	8	0	96.0%	▲ 2.3P	3.55	0.05
	3) 独創性のある新しい造形表現ができる。（表現力）	102	90	9	0	95.5%	0.5P	3.46	0.06
	4) 実践において専門的技能が発揮できる。（技術力）	97	97	7	0	96.5%	▲ 0.2P	3.45	0.03
	5) 様々な知識や技能をいかして作品にまとめられる。（構成力）	102	89	10	0	95.0%	▲ 2.2P	3.46	0.01
	6) 作品や企画を社会に対して効果的に発信できる。（プレゼンテーション能力）	77	111	13	0	93.5%	▲ 0.4P	3.32	▲ 0.01
	7) 論理的な構成の文章で、意図を正しく伝えることができる。（文章表現力）	75	110	16	0	92.0%	0.8P	3.29	0.05
	8) 聞き手の理解を確かめ、対話ができる。（伝える能力）	99	92	10	0	95.0%	▲ 2.2P	3.44	0.05
	9) 物事を定量的にとらえ、比較対照できる。（計算力）	73	110	15	3	91.0%	0.9P	3.26	0.05
	10) 自律、自立して学習できる。（学習力）	99	90	12	0	94.0%	▲ 0.5P	3.43	0.10
	11) 文化、社会に関する一般的な知識をもち、世の中の事象を理解できる。（知識と理解）	88	106	7	0	96.5%	0.9P	3.40	0.07
社会で実践する力	12) 必要な情報を判断し、収集することができる。（情報収集力）	100	94	7	0	96.5%	▲ 1.3P	3.46	0.02
	13) 収集した情報を目的に沿って整理し、その関係性や本質を明らかにできる。（分析力）	91	103	7	0	96.5%	0.9P	3.42	0.04
	14) 課題を解決するための道筋を考え、実践することができる。（課題解決力）	82	113	6	0	97.0%	1.4P	3.38	0.03
協働できる素養	15) 積極的に取り組もうとする態度を身につけた。（主体性）	111	83	7	0	96.5%	4.8P	3.52	0.18
	16) ニーズに基づいて計画的に行動しようとする態度を身につけた。（行動力）	97	95	9	0	95.5%	2.7P	3.44	0.12
	17) 自己の役割を理解し、他者とともに協働しようとする態度と倫理観を身につけた。（協働力）	111	85	5	0	97.5%	1.4P	3.53	0.12
	18) 効果的に意思疎通ができ、状況に即した表現ができる。（コミュニケーション能力）	102	90	8	1	95.5%	1.6P	3.46	0.09
忠恕の心	19) 相手の立場に立って考え、思いやりの心を持って行動することができる。	133	63	5	0	97.5%	0.3P	3.64	0.12

教育学部		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合(A+B)		平均点	
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		(前年比)		(前年比)
確かな専門性	1) 教育に関する幅広い教養（社会教養・教科教養・教職教養・新しい時代の教育知識）や技能（ベーシック・リテラシーおよび専門リテラシー）が身についた。	114	86	5	2	96.6%	▲ 1.1P	3.51	▲ 0.04
	2) 実践を省察しながら授業・保育を設計（デザイン）できる。（実践構想力）	100	102	3	2	97.6%	1.0P	3.45	▲ 0.02
	3) 子どもの尊厳を尊重して共感的に接しながら実践できる。（実践力）	132	71	2	2	98.1%	0.4P	3.61	▲ 0.03
	4) 協働的な実践の省察を通して実践を基礎づけている枠組みを発見し、新しい実践を提案できる。（実践探究力、新しい教育課題に対応するセンス）	105	96	4	2	97.1%	▲ 0.0P	3.47	▲ 0.01
社会で実践する力	5) 市民として、問題意識、使命感、ヴィジョンを持って、社会に貢献しようとすることができる。	107	94	4	2	97.1%	1.7P	3.48	0.02
	6) 主体的・継続的に学びつづける生涯学習の方法と習慣を身につけた。（学び続ける習慣）	105	95	5	2	96.6%	▲ 1.1P	3.46	▲ 0.04
協働できる素養	7) 子ども理解を中心に、多角的な視点から他者や異質なものの理解ができる。	116	87	2	2	98.1%	0.4P	3.53	▲ 0.06
	8) 他者と協同して、多角的な視点から現代社会の教育課題に対応できる。（新しい教育課題に対応するセンス）	114	87	4	2	97.1%	▲ 0.0P	3.51	▲ 0.01
忠恕の心	9) 常に誠をつくし、ひとの立場に立って考え行動することができる。（共感する心）	132	71	2	2	98.1%	0.4P	3.61	▲ 0.03